

2021年度 沖縄大学 入学式 祝辞

沖縄大学後援会 会長 新垣 淑典

令和3年度の新入生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。そして保護者の皆様、本当におめでとうございます。ここに至るまでのこの一年、ご本人の頑張りだけでなくご家族の皆さんの支えがあって辿り着けた日だと思います。

それでは、初めに沖縄大学後援会について少し紹介させていただきます。後援会は、沖縄大学の学生のご父母が中心会員となって運営されている組織です。ご父母以外には当大学勤務の教員、職員の皆さん、また賛助会員として後援会の目的に賛同して頂いている学外の個人の会員で構成されています。中学校・高等学校などで例えるなら、PTAのような組織となっています。

後援会の事業内容は大学施設の整備・改善への援助、学生活動やクラブ活動への援助、海外研修への援助、そして奨学金支援事業などです。

中でも後援会事業の大きな柱となっている奨学金事業には修学奨学金、特別奨学金、文化活動奨学金の3本柱があり、更には県内の企業や篤志家の協力を頂き、企業・団体名を付けた冠奨学金を用意しております。新入生の皆さんも積極的に応募し有効にご活用して下さい。

沖縄大学では大学創立60周年の節目である2018年に大学生協が運営する学生食堂がオープンしました。後援会では学生の経済的負担を軽減するために料金が350円を超えるメニューに対して100円の値引きをしてきましたが、本年は更なる値引きを行なえるよう後援会予算を運用していく予定です。

さて沖縄大学は1958年短期大学設立を経て創立されました。当時、沖縄県は戦後高等教育機関の不足した時代でした。志は高くあるが、経済的理由等で本土の大学に進学できない多くの若者に、教育の場を提供する目的で、また社会的な要請に応える形で、実業家であった嘉数昇が私財を投じ設立したという経緯があります。設立から今日に至るまでの間、財政問題や祖国復帰に伴う存続闘争など多くの困難に直面いたしましたが、当時の大学役員はじめ教職員、学生が一致団結して乗り越えて参りました。今では2万数千人を超す卒業生が県内外で幅広く活躍し、地域社会に大きく貢献する大学として広く認知されております。

大学という場所は学業にしっかりと取り組む場所ですが、それに加えて様々な観点において人間的に大きく成長するための場所でもあります。本学において過ごす時間は皆さんにとって大変貴重な時間です。時間を有効に使うとともに、控え目にならずに多くのことに果敢に挑戦していただきたいと思います。そして沖縄大学には大学生活において活躍した学生を讃える賞として、本学創設者の名を冠した嘉数昇記念賞という賞が準備されております。毎年、卒業式で授与される栄誉ある賞でありますので、4年後の卒業式にはここに居る新入生の皆様の誰かが受賞することを大いに期待しています。

大学の4年間というのはあっという間に過ぎていきます。あなたがこの4年間で学び経験することは、あなた自身を形成しひいては沖縄の未来を形成すると言っても過言ではありません。これからの大学生活で何か一つでも熱中できるものを見つけて下さい。あなたの全てをさらけ出せる友を一人でも見つけて下さい。それがあなたの財産となり、社会に出てからの人生を豊かにしてくれるはずです。そして何事にも積極的に挑戦する気概

を持って下さい。学生時代に培ったコミュニケーション能力、積極果敢なチャレンジ精神は、皆さんの未来を大きく切り開く原動力となるものと確信しております。

そして皆さんが今日この場にいられるのは、ご家族のご理解とご支援があつてのことです。周囲の方々への「感謝の気持ち」を忘れることなく大学生活を過ごしてもらいたいと思います。

結びになりますが沖縄大学の限りない発展と、教職員一同による教育的支援を期待し、新入学生全員の夢多き大学生活での活躍をご祈念申し上げお祝いの挨拶といたします。ご入学おめでとうございます。